

原田裕規 (はらだ・ゆうき)

1989年 山口県生まれ、美術家

2013年 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業

2016年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了

2014年から2016年にかけて、慶応義塾大学アート・センターにて、アーカイヴ・プロジェクト「ARCMA (Archives of Media and Art)」[文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業メディアアート分野]に従事。戦後の前衛芸術を対象にしたデータベーススキーマの設計・構築などを行う

2017年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員(短期)としてニュージャージーに滞在

個展

- 2018 「作者不詳 #2 [揭示/啓示]」 CAGE GALLERY
「心霊写真/マツド」 山下ビル
「回顧展」 コ本や
「心霊写真/ニュージャージー」 Kanzan Gallery
- 2017 「作者不詳 #1-1, #1-2, #1-3」 CAGE GALLERY
- 2015 「エンドロール」 パープルルームギャラリー (NADiff a/p/a/r/t内)
「Juxtaposition」 switch point
- 2014 「lighthouse vol.9 原田裕規展」 switch point
- 2007 「原田裕規展」 新地ギャラリー
「原田裕規展」 Art Space Hap

著作

- 2017 作品集『Fwd: print n.1』 自家版
- 2015 共著『ラムからマトン』 アートダイバー
編著『lighthouse vol.9 原田裕規展』 switch point
共編著『ARCMA Report 2014』 慶応義塾大学アート・センター ARCMA 事務局
- 2013 編著『ラッセンとは何だったのか?——消費とアートを越えた「先」』 フィルムアート社

企画

- 2017 「ニュー・フラット・フィールド」(石井友人・中島晴矢との共同企画・出品) デジタルハリウッド大学八王子キャンパス
- 2013 「シリーズ「呪術」 à Le Tabou vol.2 椋本真理子」 Le Tabou
- 2012 「シリーズ「呪術」 à Le Tabou vol.1 帆苺祥太郎」 Le Tabou
「心霊写真展」 22:00 画廊
「ラッセン展」 CASHI

グループ展

- 2018 「SURVIBIA!!」 デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ
- 2017 「ニュー・フラット・フィールド」 デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ
- 2016 「MITSUKOSHI× 東京藝術大学 夏の芸術祭 2016 次代を担う若手作家作品展」 日本橋三越本館 6階
「パープルタウンにおいでよ」 パープルルーム予備校、パープルルーム見晴らし小屋、ゼリー状のパープルルーム
「第64回東京藝術大学卒業・修了作品展」 東京藝術大学上野校地
- 2015 「WIP展 2015」 東京藝術大学取手校地
- 2013 「東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程1年博士課程2年 ATLAS展」 東京藝術大学大学美術館取手館
「平成24年度 武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品展」 武蔵野美術大学美術館
「平成24年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」 武蔵野美術大学
- 2011 「芸術文化学科児島ゼミ有志によるオープンゼミ展」 武蔵野美術大学
- 2008 「Art Portfolio in ARTZONE」 ARTZONE
「基町高校創造表現コース卒業作品展」 広島市立基町高等学校
- 2007 「Art Portfolio in ARTZONE」 ARTZONE
- 2006 「16 Art Bank Project」 十六銀行徹明支店
「Indiket 2006」 NTT クレドホール
「第10回フラッグアート展」 岐阜市・神田町通り

執筆

- 2018 「『切り取り』の3展覧会」『クイック・ジャパン』140号、太田出版 | p.183
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.3」『美術手帖』2018年10月号、美術出版社
「『諦め』の3展覧会」『クイック・ジャパン』139号、太田出版 | p.167
「藤田嗣治年表」『美術手帖』2018年8月号増刊、美術出版社 | pp.52-55
「藤田嗣治ライフストーリー」『美術手帖』2018年8月号増刊、美術出版社 | pp.44-51
構成「『ピカソが僕を変えた』横尾忠則、ピカソを語る。」『美術手帖』2018年7月23日、美術出版社 | https://bijutsutecho.com/magazine/special/promotion/18094?fbclid=IwAR1o0fMSWjOT9GJ01MhsDDrfvwUw1QCNIIDg_d8hClataigSxTRNv3Bdp78#W1Walr1WO7Y.twitter [2018年11月11日アクセス]
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.2」『美術手帖』2018年8月号、美術出版社 | pp.250-251
「『美術手帖』創刊70周年 × NADiff a/p/a/r/t 10周年記念企画」 選書フェア、NADiff a/p/a/r/t [コメント寄稿]
「『作者不詳』の3展覧会」『クイック・ジャパン』138号、太田出版 | p.183

- サハ「演劇エリートスクール」チラシ [アートワーク提供]
「物質としてスケール感を扱う方法」『WYSASSS』DOOKS
連載「プレイバック! 美術手帖 Vol.1」『美術手帖』2018年6月号、美術出版社 | pp.202-203
「Chim↑Pom インタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.32-40
「《作品の時代》とは何か?」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.42-43
「コ本やインタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.44-47
「Alternative Space Core」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | p.57
「ラファエル・ローゼンダール インタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.173-187
聞き手「ローレンス・ウィナー インタビュー」『美術手帖』2018年3月号、美術出版社 | pp. 124-127
聞き手「『パラレルな美術史』とは何か? 小沢剛が見せる「不完全」展」『美術手帖』2018年1月18日、美術出版社 |
<https://bijutsutecho.com/interview/10807/> [2018年2月10日アクセス]
「読者から読者へ: 第四回「二十一世紀の名著」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2018年1月
2017
聞き手・構成「長谷川愛インタビュー」『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 | pp.26-30
文字起こし・構成「横尾忠則インタビュー (聞き手: 伊藤亜紗)」『アイデア』2018年1月号、誠文堂新光社 | pp. 32-35
石井友人・中島晴矢・原田裕規 (鼎談)「なぜ「郊外」は語られない? ニュータウン発の現代美術展で考える」『CINRA.NET』
2017年11月7日、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/interview/201711-newflatfield> [2018年2月10日アクセス]
「読者から読者へ: 第三回「永遠の謎を求めて」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年10月
「読者から読者へ: 第二回「美しい世界ってなんだろう?」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年8月
「命名のあとさき」『美術手帖』2017年8月号、美術出版社 | pp. 184-185
「裏声が聞こえる」『美術手帖』2017年7月号、美術出版社 | pp. 150-151
「読者から読者へ: 第一回「世界の見方を変える本」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年6月
「制度批判者としての松澤宥」『美術手帖』2017年6月号、美術出版社 | pp. 186-187
「制作を媒介に神話の世界へ。上妻世海インタビュー (前・後編) [聞き手・構成]」『美術手帖 [ウェブ版]』
<https://bijutsutecho.com/interview/2862/> | <https://bijutsutecho.com/interview/2958/> [2017年6月8日アクセス]
「無・関係性の絵画」『美術手帖』2017年2月号、美術出版社 | p.173
「コンセプトとしての絵画の死に方」『美術手帖』2017年2月号、美術出版社 | pp. 188-189
2016
「特集 あなたの知らないニューカマー・アーティスト100」における宮下大輔、ローゼン・シマムラ、齋藤恵汰の推薦・解説文の執筆
「表現としての施行」『美術手帖』2016年12月号、美術出版社 | pp.212-213
「眼病としての太陽」『美術手帖』2016年10月号、美術出版社 | pp.166-167
「過激化する「ふつう」」『経済産業省第四分館』(毒山凡太郎個展記録集) 2016年9月
「『破壊/建設』される不気味さ」『美術手帖』2016年9月号、美術出版社 | p.177
「《パープルタウンの風景》に寄せて」《パープルタウンにおいでよ》(2016.7.10-7.19)における会場「パーブルーム予備校」で発表
「展覧会の作者とは」『美術手帖』2016年5月号、美術出版社 | pp.182-183
「再演される「不定」」『美術手帖』2016年4月号、美術出版社 | pp.180-181
2015
「『ほか』としてのパーブルーム」『美術手帖』2015年10月号、美術出版社 | pp.198-199
「寛容——N・ケティングの表現」『美術手帖』2015年7月号、美術出版社 | pp.160-161
「蒙古斑と美術の余白」『ラムからマトン』(編著: 梅津庸一) アートダイバー
「網羅的に併置すること (Juxtaposition)」『lighthouse vol.9 原田裕規展』(編著: 原田裕規) switch point
「灰色の幻」『ARCMA Report 2014』(編著: 上崎千・國本学史・原田裕規) 慶應義塾大学アート・センター ARCMA 事務局
文字起こし・編集「『MOT コレクション つくる、つかう、つかまえる——いくつかの影響から』関連プログラム「高柳恵里の作品
について——対談: 高柳恵里 × 蔵屋美香」採録」『平成 26 年度 東京都現代美術館年報 研究紀要 第 17 号』東京都現代美術館
「山口晃最新インタビュー」インタビュー 『美術手帖 2015 年 4 月号』美術出版社
2014
「五島記念文化賞 美術新人賞研修帰国記念 鬼頭健吾 Reflection “反映” 展レビュー」『REAR 34 号』REAR 制作室
「歪み——坂本夏子の絵画」『美術手帖 2014 年 12 月号』美術出版社
「『落葉』の視点と「日本」の自画像」『月刊美術 2014 年 11 月号』サン・アート
「レセプタとしての大地——立ちのぼる生命 宮崎進展」『美術手帖 2014 年 8 月号』美術出版社
「フィクションは疑いを晴らすか——「非日常からの呼び声」展」『美術手帖 2014 年 7 月号』美術出版社
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 10 回 (最終回)——偶然と「人間と物質」について」『美術手帖 2014 年 6 月号』美術出版社
「木梨憲武のハード・コア」『木梨憲武展 ×20years』美術出版社
「アール・ローランのダイアグラム」『ART CRITIQUE n.4』constellation books (京都)
「バルテュスの画業と人生」『美術手帖 2014 年 4 月号』美術出版社
「批評の無限後退——バルテュスをめぐる言説から」『ユリイカ 2014 年 4 月号』青土社 (東京)
2013
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 6 回——態度が形にならない、人間と物質のあいだ」『美術手帖 2014 年 1 月号』美術出版社
「新・方法的なもの」『新・方法 第 35 号』新・方法
「フレーミングし、追認せよ——「福田美蘭」展」『美術手帖 2013 年 10 月号』美術出版社

- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第3回——反論理の美術批評」『美術手帖 2013年9月号』美術出版社
- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第1回——理論物理学と美術批評のあいだ」『美術手帖 2013年7月号』美術出版社
- 「はじめに」「ラッセン展」とは「クリスチャン・ラッセンの歩み」「クリスチャン・ラッセンの画業と作品——事後的評価と再召喚される「ベタ」」「作品分析のアクチュアリティ——ラッセンを見ることの意味」「おわりに」「ラッセンとは何だったのか？」(編著：原田裕規) フィルムアート社
- 「小沢ノッポさんの素——小沢剛「できるかな」展」『美術手帖 2013年6月号』美術出版社
- 「新しいユートピアへ——今津景「PUZZLE」展」『美術手帖 2013年5月号』美術出版社
- 「アール・ローラン論——セザンヌ作品のダイアグラム分析をめぐる」武蔵野美術大学
- 2011 「風景について」武蔵野美術大学
- 「宮下大輔インタビュー」『Culture Power』武蔵野美術大学
- 2010 「インタビュー・アーカイブサイト「Culture Power」運営・インタビュアー」武蔵野美術大学
- 2009 「梅沢和木インタビュー」『美術批評とは何か』武蔵野美術大学
- 登壇・出演
- 2018 「SURVIBIA!!」クロストーク、デジタルハリウッド大学八王子キャンパス
- 「〈地域アート〉はどこにある?」プロジェクトクロストーク 十和田市現代美術館 [林曉甫、藤田直哉、金澤韻、原田裕規]
- 「パープルーム大学附属ミュージアムのヘルスケア」関連トークイベント第一弾「展覧するということ」梅津会館2階 [梅津庸一、原田裕規]
- 「〈凍土〉を解凍「デコード」する」山口県立美術館 [主催：ギャラリーナカノ]
- 「心霊写真/マツド」トークイベント、山下ビル [副田一穂]
- 「回顧展」トークイベント、コ本や [上崎千]
- 「心霊写真/ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [三輪健仁]
- 「回顧展」トークイベント、コ本や [飯盛希]
- 「心霊写真/ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [中尾拓哉]
- 「心霊写真/ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [田坂博子]
- 「Project Intersection ワークショップ「Intersection I: 地域・歴史・アートの狭間で」」クリエイティブセンター大阪 (名村造船所跡地) 内 Black Chamber [パネリスト：藤井光、原田裕規、飯山由貴、上崎千、モデレーター：小森真樹、牧田義也]
- 2017 「自営と共在 (企画：齋藤恵汰)」展ゲストトーク、BARRAK 大道 [鈴木操、原田裕規]
- 「芸文誌:アートのお仕事 2017」武蔵野美術大学 [スピーカー：水田紗弥子、沢山遼、原田裕規、戸塚愛美、ファシリテーター：冠那菜奈]
- 2016 「Meets Nights at Barrack」Barrack [Jason Waite、黒奇想、オル太、原田裕規、亜鶴、木村奈緒]
- 2015 「美術という制度と物語——土人の構想画からラッセンまで」NADiff a/p/a/r/t [梅津庸一、原田裕規]
- 「ARTIST' GUILD 生活者としてのアーティストたち」東京都現代美術館地下2階講堂
- 2014 「映像メディア学特別研究」東京藝術大学横浜校地
- 《CAMP: Discursive #1〈参加すること〉》森美術館
- 《CAMP: えをかくこと #2〈展覧会をつくる〉》blanClass
- 《鈴木広志個展ゲストトーク》[鈴木広志、原田裕規、ツカダシュウヘイ、寒田美緒] XYZ collective
- 《組立—転回/対話企画 上田和彦 × 原田裕規「自己教育としての美術——なぜ作家が企画を立てるのか」》東京造形大学 CS-Lab
- 2013 《現在のアート〈2013〉》森美術館
- 《女子美術大学 芸術表象論特別講義 #15》女子美術大学
- 《ラッセンの「聴取」》[星野太、原田裕規、櫻井拓] Le Tabou
- 《「ラッセンとは何だったのか?」出版記念「いま、ここからのラッセン vol.2」》[千葉雅也、大山エンリコイサム、原田裕規] B&B
- 《KoSAC「ラッセンをいかに語るのか?」》[中ザワヒデキ、原田裕規、加島卓、光岡寿郎] 武蔵野美術大学
- 《中ザワヒデキ文献研究 夏の陣最終回》[中ザワヒデキ・武田美和子・原田裕規] 美学校
- 《引込線 2013「『作品』の成立をめぐる」》[勝俣涼・原田裕規・椋本真理子・百瀬文] 旧所沢市立第2学校給食センター
- 《三原回個展トーク「アーティストと死」》[原田裕規・三原回・図師雅人] あおば荘
- 《「ラッセンとは何だったのか?」出版記念「いま、ここからのラッセン vol.1」》[斉藤環、大野左紀子、速水健朗、原田裕規] B&B
- 《触れる音、聞こえる形》[椋本真理子・原田裕規] Le Tabou
- 《「現場」研究会ゲストトーク》宮益坂ビル
- 《平成24年度 武蔵野美術大学芸術文化科学卒業制作展 座談会》[杉浦幸子、高橋実和、櫻林恵美理、原田裕規] 武蔵野美術大学
- 2012 《Provisional School 暫定学校》[栗田大輔・小林晴夫・橋本聡・藤川琢史・原田裕規・村山悟郎・一ノ瀬健太・光岡幸一・五位野聖・野本直輝・田中丸善一ほか] 東京造形大学 CS-Lab
- 《触れる音、聞こえる形》[原田裕規・帆苅祥太郎] Le Tabou
- 《マテリアリティとクオリティ——ムアアとハーストの反復性から》[杉浦幸子・原田裕規] Neutron Tokyo
- 《夜と芸術》[榮龍太郎・原田裕規] 22:00 画廊
- 《心霊写真展トークイベント》[榮龍太郎・原田裕規・松井勝正] 22:00 画廊
- 2011 モデレーター 《3.11 以降のアート (パネリスト：石黒敦彦、沢山遼、岡村幸宜)》銀座会議室

2010 助監督《白昼夢》監督：森本はる葉、主演：宮下大輔
2009 《Review House☆Dream Night2》Uplink Factory
2008 《学校へ行こう！MAX 出演》TBS テレビ（2008/2/26/20:00-21:00）
《岡本太郎《明日の神話》広島誘致活動》オリエンタルホテル広島
《学校へ行こう！MAX 出演》TBS テレビ（2008/1/22/20:00-21:00）
2007 《バンダ寄贈》灘幼稚園
《並木緑化計画》並木通り
2006 《並木通りストリートペインティング》並木通り
《Improvisation Workshop - 絵と音セッションその2》Yukotopia

掲載情報

2018 高嶋慈「原田裕規「心霊写真／マツド」」『artscape』2018年9月15日号、DNP |
http://artscape.jp/report/review/10149059_1735.html?fbclid=IwAR2Mbg0hv3gUb132PKALJhs195VONxkKlHPfTICRWDE_hntwwG4rtWgVEnl [2018年11月11日アクセス]
「目に見えるものが真実とは限らない？ 副田一穂が見た、原田裕規「心霊写真／マツド」展」『美術手帖』2018年8月30日、美術出版社 | <https://bijutsutecho.com/magazine/review/18327?fbclid=IwAR3CGOD70Bc-Z8POVnxvzqliSPrn-EygUFUcb7XykavJjTrmiMGVnmoRUI> [2018年11月11日アクセス]
「日本で発表されているアート400選」『ギャラリー』2018年8月号、ギャラリーステーション | p.129
インタビュー「二十一生」（聞き手：Lee Yong Jun）<https://21sss.net/Yuki-Harada-Jp> [2018年11月11日アクセス]
志田康宏「『額装の日本画』展のテーマと裏テーマ」『美術運動史』167号
インタビュー「原田裕規インタビュー（聞き手：佐藤拓真）」『作者不詳 #2「揭示／啓示」』冊子、CAGE GALLERY
インタビュー「写真表現の拡張を試みる 原田裕規に中尾拓哉が訊く」『美術手帖』2018年7月13日、美術出版社 |
https://bijutsutecho.com/magazine/interview/14933?fbclid=IwAR1sy2w9PCNzs5rZ_0jhp6l4uXZc5aB9clZwkiSTVHDSWiSPIJCx8U1lwV4#.W0h9vIkwoZp.twitter [2018年11月11日アクセス]
長谷川新「『写真について考える』の3展覧会」『クイック・ジャパン』137号、太田出版、2018年 | p.191
飯沢耕太郎「原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」」『artscape』DNP、2018年4月15日 |
http://artscape.jp/report/review/10144995_1735.html?fbclid=IwAR0d9CohP980MGN9zLs9Qp3powF0nhXsoZolUjLtxnoihiQxY4xYCYs3kg [2018年11月11日アクセス]
gnck「イメージの心霊。gnckが見た、原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」展」『美術手帖』、美術出版社、2018年4月3日 |
https://bijutsutecho.com/magazine/review/13589?fbclid=IwAR0iCd9G7BWEvR17t0PAOz4EK2ekB7HdARdloZwx_Bm3s5a-7K09QYjT5Ak [2018年11月11日アクセス]
「浮遊するイメージを作り出す試み」『ギャラリー』2018年3月号、ギャラリーステーション | p.39
『ALLOTMENT ART MAGAZINE Vol.3』【作品紹介】アロットメント事務局、2018年1月
宮原朋之「大人の文化祭『NEWTOWN』。カルチャーが元小学校に集結した日」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）
『CINRA.NET』2017年12月28日、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/report/201712-newtown> [2018年2月10日アクセス]
中尾拓哉「まぼろしの在処」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 |
pp.194-196
2016 土屋誠一「親密さについて」（「パープルタウンにおいでよ」展レビュー）『美術手帖』2016年10月号、美術出版社 | pp.164-165
「特集 美大生の今 2016 美大から社会へ 修了制作を終えた院生たちによる座談会」（黒木美都子・佐竹真紀子・高島美幸・永井天陽・原田裕規・前川ひな・宮川慶子）『ギャラリー』2016年3月号、ギャラリーステーション | pp.81-99
2015 「ART NAVI」2015年10月号、美術出版社
gnck「原田裕規は真面目である。」（lighthouse vol.9 原田裕規展レビュー）『美術手帖』2015年3月号、美術出版社 | pp.250-251

助成

2016 《平成28年度 新進芸術家海外研修制度（短期研修・後期）》

受賞歴

2013 「Book of the Year 2013（dacapo主催）」第7位（『ラッセンとは何だったのか？——消費とアートを越えた「先」』）
《平成24年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展》優秀賞
2006 《Indiket 2006》Art Space Hap 賞
《第10回フラッグアート展》岐阜新聞・放送賞